



## 今月の記事

災害時安心協定

夏祭り

ユニット便り

リレーエッセイ

今月の愛の園

## 災害時の安心確保に関する協定

設備室主任

小倉直樹

愛の園は6月より上富田町と、「災害時等における地域の安心の確保等に関する協定」を結びました。

この協定は、災害発生時等において高齢者、障がい者等支援を必要とする地域住民の安心を確保するために、必要な事項を定めたものです。具体的には災害発生時において、愛の園は上富田町の要請により、在宅での生活が困難になった高齢者及び障がい者の方を一時的避難所として受け入れ、又、災害ボランティアの必要時には、上富田町に派遣要請するなど互いに協力要請を行うことが出来ます。

今後、受け入れ可能人数、介護支援者数、必要な生活物資等について、あらかじめ協議をしていかねばなりません。愛の園では現在、非常用食料品、飲料水、介護用品（紙おむつ等）の備蓄をしていますが、今後は毛布・ブルーシートを含め、必要生活物資等の増量が必要不可欠となります。そのために備蓄倉

庫の拡大や整理の検討を重ねると共に、地域との連携に精一杯努めて参りたいと思っております。



この協定は—

愛の園が加盟する和歌山県老人福祉施設協議会が、2010年に和歌山県との間に結んだ協定に基づいて締結されました。それぞれの施設が属する自治体と協定を結ぶことで、全県で災害時の要援護者への支援体制が整えられることを目指しています。



食糧・水・介護用品などの備蓄品



ゴーヤのカーテンが厳しい暑さを防いでくれています 収穫もたっぷりで一石二鳥です

## 夏祭り委員を担当して

介護職員

楠本祥子

毎年この季節になると七夕や田辺祭り、白浜の花火大会などの行事で盛り上がります。愛の園でも一年を通して季節の行事がたくさんあり、日頃外出する機会が少ない入居者の方にも、季節を感じていただけるように力を入れています。

今年、初めて夏祭りの委員をすることになり、わからないことばかりでしたが、昨年実行委員をしている職員から教えてもらい、今年も入居者の方々とご家族で楽しんでいただけるような夏祭りにしたいと思いました。

ヨーヨー釣りの担当をしましたが、以前担当した職員の話の参考により安全に楽しんでいただけるよう、ヨーヨーのゴムの輪を大きくして釣りやすしたり、紙縫りの部分をビニール紐にししたり、いかりの部分をS字のプラスチックにして安全性も重視しました。上手な方は1回で2個釣っている方もおられました。また、パフェやかき氷などおいしそうに食べられ、ハッピーや浴衣姿の入居者とご家族の方々が楽しそうにしておられる光景を見ることができてとてもよかったです。





## ユニット便り 6ユニット

ショートステイを担当する6ユニットでは、その日の利用者によって、リビングの配置を変更することがあります。

利用者一人ひとりを尊重し、人となりを把握してその方に最適なケアを提供できるよう努めています。



ショートステイの送迎を担当している染本享治(左)と栗林由典

日頃の疲れを癒し、リフレッシュをしていただきご家庭に戻ることが出来るように、常に工夫しながら利用者の方々と接しています。

機能訓練やアクティビティのない時は、DVDの歌番組を観ていただいたり、色紙で作品を作ったり、新聞紙でゴミ袋を折っていただいたりと様々な過ごし方をされています。「ゆっくり休みたいわ。」と言われる方には、無理に何かをしていただくのではなくご本人が望むように自室やリビングなどで寛いでいただきます。

退園の際、利用者からの「おおきに、また頼みます」と言う感謝の一言が嬉しく、「明日も頑張ろう」と元気を与えてくれます。利用者一人ひとりに満足していただけるように職員一同頑張りたいと思います。

### リレーエッセイ(14)

## 「私のライフワーク」

調理職員

志水利子

先日、母の三回忌法要を終えました。月日の経つのは早いものです。

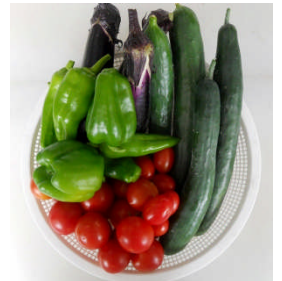
私は今、主人に手伝って貰い、母が残した畑で家庭菜園をしています。野菜を作るのは、結構労力のいる仕事です。耕して土に肥料を混ぜ、種を蒔き、芽が出たら間引きをしながら徐々に作物を大きく育てます。色々な種類の野菜が作れたらと思ひ、その時期にあつた種を蒔いています。

雑草を抜いたり虫の駆除、寒い時の霜対策や暑い時には水やりをしたり、しなければならぬことがたくさんありますが、手をかけた分、収穫の喜びもあります。子供や孫たちに新鮮な野菜を食べさせたい思ひや、友達や近所におすそ分けして喜んでもらえることが励みになっています。

また採れたての野菜で色々な料理を作るのも楽しみのひとつです。採れたての自家製野菜は、柔らかくて甘くて身体に優しい味がするので、野菜嫌いだった主人も美味しいと言って食べてくれる様になり、今では毎日新鮮な野菜が食卓を彩っています。

美味しい野菜を育てその野菜で色々な料理を作って家族に食べてもらい、笑顔を見ることが私のライフワークになりつつあります。

次は調理室の鈴木崇充さんにバトンタッチします。



「キリストの愛を以って  
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。  
Web サイト アドレス:

<http://shinai.or.jp>

## 8～9月の愛の園

- 11(日) 日曜礼拝
- 13(火) マリア会
- 15(木) やまびこ会
- 16(金) 社協ボランティア来園
- 18(日) 日曜礼拝
- 20(火) ひまわり会
- 21(水) 手芸サークル
- 22(木) やまびこ会
- 25(日) 日曜礼拝
- 27(火) マリア会
- 28(水) 歯科診療
- 29(木) やまびこ会

- 1(日) 日曜礼拝
- 3(火) 桜美林大学演劇サークル来園
- 5(木) やまびこ会
- 8(日) 日曜礼拝 一日我が家
- 10(火) マリア会

## 編集者から

聖書に『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』という言葉があります。一言でいえば他者と共感する生き方を示している箇所、福祉施設などでもよく掲げられています。

過日、愛の園が加盟する聖公会社会福祉連盟の研修会において、釜ヶ崎で野宿者の支援活動を行っている本田哲郎神父から、「ここだけ取り上げるなら仲間とだけ付きあっても当てはまる。後に続く『互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人々と交わりなさい。』までを一緒に標記して、共感すべき相手とは弱い立場にある人々、小さくされている人々であることを見失わないように。」と教えられました。

『キリストの愛を以って互いに仕える』ことも看板だけにならないよう、丁寧に実践していかなければと、思いを新たにしました (A)